

シリーズ
摂食・嚥下障害
の治療

— 摂食・嚥下障害看護認定看護師 —
学ぶ経験と専門について

看護師 亀井恵子

みなさん、お元気ですか？私は、公立七日市病院の看護師亀井恵子と申します。

私の最初の人職は、七日市病院が開院2年目で、当時は学生で働きながら看護師の資格をとりました。それから子育てを機に退職、転職などを経て、また七日市病院でお仕事をさせていただいております。

2021年に資格取得のため、7ヶ月間、職場を離れ学生生活を送らせてもらい2022年に認定審査に合格。摂食・嚥下障害看護認定看護師になりました。

摂食・嚥下障害看護とは？

脳卒中や筋・神経疾患、年齢などからうまくものが噛めない・飲み込めなくなる方への援助を行う看護です。「病気をしても最後まで口からものを食べたい、家

に帰って家族と同じものを食べたい」と希望する患者さんやご家族のお手伝いをしたくて、この資格を取る決意をしました。

養成学校では新生児から高齢者、脳神経から排便コントロール、栄養サポートまで多岐に渡って学習しました。中でも記憶に残っているのは、経管栄養を行っている患者さんと同じ状況を体験するため、鼻の穴から管を入れた授業です。どのようにすれば苦痛が少しでも軽減できるのか、体を張って仲間と共に涙と鼻水を流しました。

働きながら学んでみると今までの看護師としての経験と結びつくことも多く、得ていた知識が古くなっていたことを身に染みて感じました。新しい知識を得ることの大切さ、楽しさを学ばせていただきました。快く送り出して下

さった病院スタッフ、家族には本当に感謝です。

今後は学んで来たことを看護に活かし、患者さんの「食べる」を支えていけるよう頑張っていきたいと思います。些細なことでもかまいません、「食べること」に関して感じるごがありましたら気軽に声をかけてください。



身をもって体験してその大変さを味わう筆者。患者さんへの優しさの源になりました。

私は通勤時間に50分ほどかかる場所から通っています。通勤時間は「お母さん」から「看護師」へと気持ちの切り替え時間になっています（長すぎるけど・・・）。そんな大切な時間に聴くお気に入りの音楽は、子供たちの影響で【米津玄師】【KingGnu】などです。幸いアルバムは1枚聴き終わると病院に到着しますので・・・。皆さんのおすすめの曲や歌手を教えてください。



適度な… カロリー摂取は勉強に活力をもたらしてくれました。